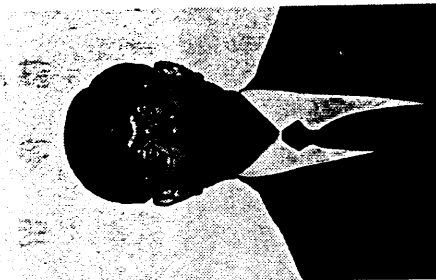


崖つふちの大阪府財政

産業政治部 5

大阪府総務部長

片木 淳氏にきく



大阪府総務部長
片木 淳氏

「大阪府財政も、大変な状況のようだが。」

「平成七年度の経費収支比率は、一〇八・九で、全国ワースト・ワンに入ってくるよりも、出て行く方が一割近く多い。なんといっても、バブル崩壊後の景引き気低迷による法人税収の減が大きい。米年度以降も二、〇〇〇億円を超える財源不足が続くと見込まれる。まさに、危機的な状況だ。」

「手は、打っているのか。」

「既に本年二月、行政改革大綱を策定、一、〇四四項目にわたり、府庁新庁舎

をはじめ主要プロジェクトの凍結、事務・事業の見直し等を行うこととしたところだ。平成八年度当初予算は、これに基づく歳出抑制（前年度比〇・一％減）と、法人二税の超過課税の延長、使用料・手数料の一斉見直しに比べ、基金を一、六五七億円取り崩して、ようやく組むことができた。しかし、貯金も、とうとう底をついた。」

「今回、「財政健全化方策（案）」を取りまとめたことだが。」

「このような府の財政状況については、府議会でも大変ご心配いただいてお

り、今年の当初議会での議論を踏まえ、このたび「財政健全化方策（案）」を取りまとめ、府議会をはじめ府民の皆様にお示ししたところだ。内容的には、二千二百人の職員削減、知事等の特別職の給与の減額措置、四五項目の主要事務事業の見直し、府単独の建設事業の三〇％減のシリークなど、さらに健全化のための措置を強化するとしている。」

「それで、危機的財政状況からの脱却はできるのか。」

「さいはい、本年三月末の法人決算における住居処理事等の特殊要因により六百億円余りの税収増が、また、地方交付税でも五百億円弱の増収が見込めるようになった。これらをできるだけ九年度におくるとともに、さらに健全体の取り組みを強化して、なんとか九年度の予算を組んで行きたい、行かねばならぬと考えてい

る。」

しかし、十年度、十一年度については、正直なところ、見込みがたっていない。我々も、まだまだ努力しなければならぬと考えているが、できることにも限りがあるということになれば、あとは、景気の回復と地方税財政制度の抜本的な改革に期待するしかないと思し上げざるをえない。」

いずれにしても、府議会をはじめ府民の皆様のご理解と協力なしには、府財政の再建はできない。今後とも、よろしくお願いしたい。」

片木 淳

昭和三年 四月一日 生
大阪府泉南市出身
昭和四十六年六月 東京大学法学部卒業
同四十六年七月 自治省入省
同五〇年七月 自治省税務局市町村税課主査
同五二年四月 鹿児島県

企画部参事

同五三年八月 鹿児島県

水産商工部観光物産課長

同五四年五月 鹿児島県

総務部財政課長

同五十六年四月 自治省大

臣官房総務課課長補佐兼行

政局行政課長補佐兼総務局

事務官（臨時行政調査会事

務局調査官）

同五十八年四月 大阪府経

済局参事（シエトロ・ジュ

ッセルドルフセンター）

同六一年七月 自治省大

臣官房企画室理事官

同六二年四月 高知県保

健康増進部長

平成元年四月 高知県総

務部長

同三年四月 自治省大臣

官房広報室長

同四年四月 自治省行政

局公務員部給与課長

同四年八月 北海道総務

部長

同六年七月 自治省財政

局公営企業第二課長

同七年六月 大阪府総務

部長

危機的状況

府民も御理解を



大阪府知事
横山ノック氏